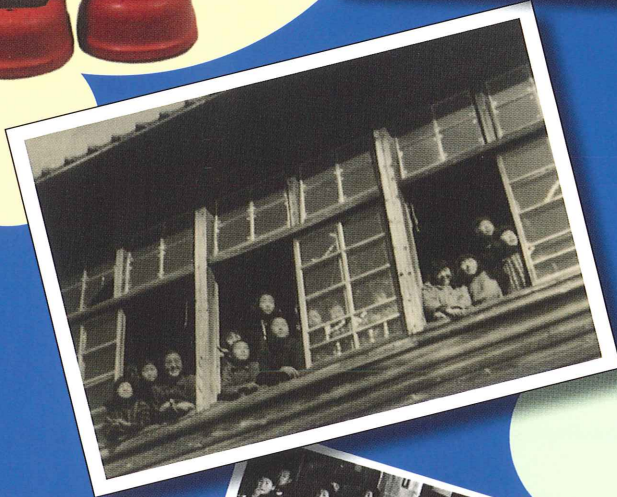
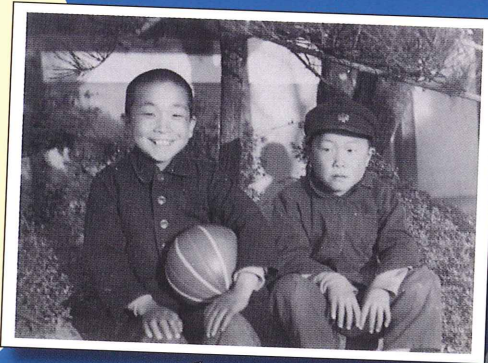
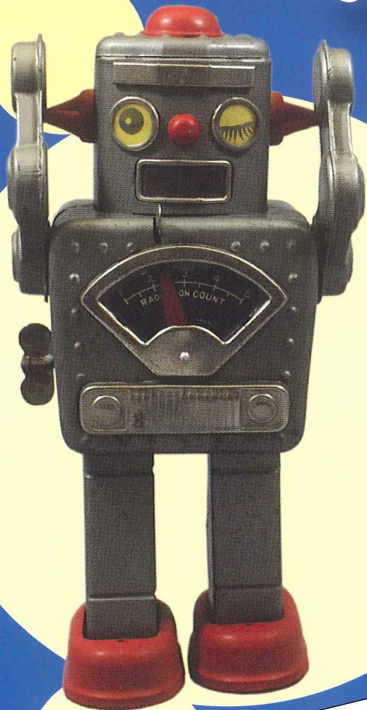


平成23年度夏季特別展

安曇野の昭和の子ども

～学ぶ・遊ぶ・暮らす～

7月16日(土) - 8月28日(日)



大きな戦争があった
待ち望んだ平和な時代が来た
豊かな日本を目指した...



子どもたちが暮らした昭和の時代を
のぞいてみよう

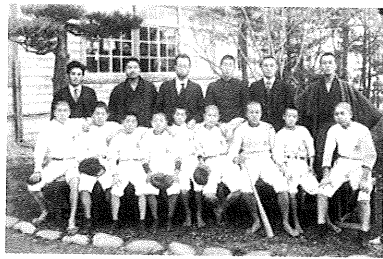


安曇野市豊科郷土博物館 <http://toyohaku.jugem.jp/>

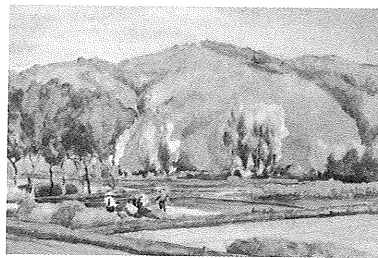
長野県安曇野市豊科4289-8 〒399-8205 tel/fax 0263-72-5672

●JR大系線豊科駅から徒歩15分 ●JR篠ノ井線田沢駅から車で10分 ●長野自動車道豊科インターチェンジから車で5分





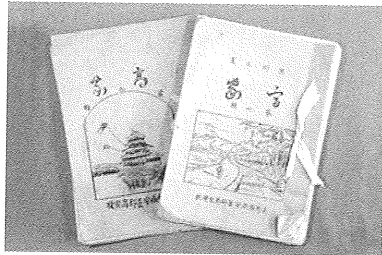
穂高尋常小学校野球部
(昭和5年) 個人蔵



豊科高家の風景
(昭和10年代) 個人蔵



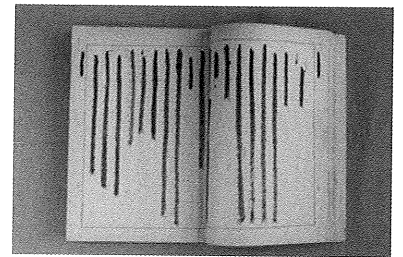
高家国民学校「洗心田」
(昭和10年代) 個人蔵



慰問文集
(昭和17、18年) 個人蔵



穂高国民学校二年生 先生と春 蓼川で
(昭和20年) 個人蔵



戦後の墨塗り教科書
(昭和20年頃) 個人蔵



豊科高家熊倉での季節保育
(昭和30年) 個人蔵



豊科小学校給食
(昭和31年) 豊科南小学校蔵



高家小学校修学旅行
(昭和24年) 個人蔵

昭和という時代は日中戦争から続いて始まった太平洋戦争と、その敗戦後の復興から高度経済成長期という二つの大きなうねりがありました。大きく変わる社会のなかで、私たちの暮らしも様変わりしました。

戦時下「小国民」と呼ばれ、戦争勝利のための教育を受けた子どもたちは、終戦後、民主化教育への変化をどのように受けとめたのでしょうか。

野山や川、空き地で遊ぶ子どもたちをあまり見かけなくなったのはいつごろからでしょうか。

昭和の子どもたちの暮らしの中に現在の子どもたちが失ったものはあるのでしょうか。

この展覧会で昭和という時代に生きた安曇野の子どもたちの暮らしを知り、子どもたちの未来について考えてみませんか。

◎関連イベント◎

●「展示説明会と昭和の紙芝居を見よう」

◆日時 7月23日(土)
展示説明会(館職員) 10時～
紙芝居・朗読(村西京子さん) 11時～

◆会場 豊科郷土博物館
※入館料が必要になります。申込不要。

●講座「安曇野の伝統食を楽しむ～学校給食の歴史～」

昭和40年代の学校給食と、現在の特色ある給食を実際に作り、学校給食に込められた願いや、歴史を学びます。

◆日時 7月17日(日) 10時～13時
◆会場 豊科保健センター(安曇野市)
◆講師 鳥羽美智子さん(中部学校給食センター栄養教諭)
農村女性学習会の皆さん

●講座「体験! 安曇野の昔の暮らし」

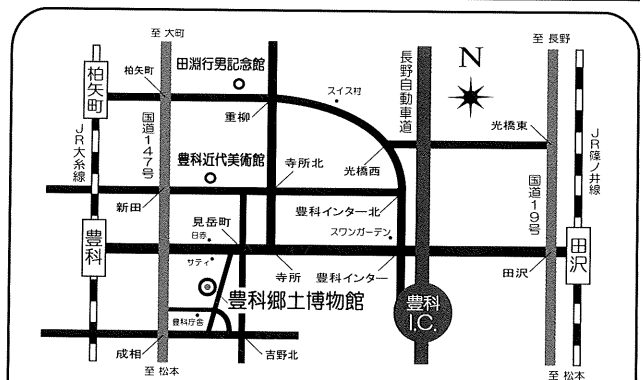
国指定重要文化財「曾根原家住宅」で、実際に囲炉裏に火をおこし、囲炉裏端で太平洋戦争の頃の子どもの暮らしについてお話を聞きます。他にも大麦を使った虫かごを作り、昼食にはぬかくど(昭和中ごろまで使われた炊飯用のかまど)で炊いたご飯をいただきます。

◆日時 7月30日(日) 9時～14時
◆会場 豊科郷土博物館・国指定重要文化財「曾根原家住宅」
◆講師 矢口健陽児さん(穂高郷土資料館)・市教育委員会文化財担当者
協力 安曇野市ブランド推進室ぬかくど隊のみなさん

※講座は定員があり、申し込みが必要です。
詳しくは豊科郷土博物館(電話・FAX0263-72-5672)までお問い合わせください

◆主催 安曇野市豊科郷土博物館

- 会期 7月16日(土)～8月28日(日)
 - 開館時間 9～17時(入館は16時30分まで)
 - 休館日 月曜(祝日の場合は開館)・祝日の翌日
 - 入館料 高校生以上300(240)円
()内は20名以上の団体料金
- ※小中生・市内在住の75歳以上の方は入館無料



安曇野市豊科郷土博物館
〒399-8205 長野県安曇野市豊科4289-8
TEL・FAX 0263-72-5672 <http://toyohaku.jugem.jp/>